



新総合棟（病院7号館）完成予想図

病院は、社会復帰のための治療の場であり、生活の場でもあります。より良い医療に取り組むためには、診察室（待ち合いを含む）、病室などのスペースはゆったりとした広さを確保して、リラクゼスできる心地良い環境を整えることから始まります。

来診療体系など新しい外来システムを導入します。中高層階の入院ゾーンにはアイ（眼）糖尿病センター、肺・呼吸器センター、循環器センター、消化器センター、内視鏡外科センターなど急性期特定機能病院に必要な診療ユニットを新設して、患者様本位の医療を目指します。

また、情報化時代に進し、オーダーリングシステム、画像蓄積・配信システムなどによるスピーディなサービス（待ち時間の短縮など）の提供、病診連携を積極的に行い、市民病院的な医療についても地域と共有していきたいと考えています。

建設工事は、本年7月には建物全体（10階）の鉄骨が組み上がり、約9カ月後には完成する予定に
なっております。

工事概要

◆構造／S造 地下1階、地上10階

◆塔屋（PH）

◆竣工予定／2005年（平成17年）6月末

◆建築面積／1761・52㎡

◆延床面積／15029・60㎡

◆最高部高／43・75m

コンセプト

◆大阪北摂地域における公共性の高い中核拠点病院として、治療から社会復帰までを視野に優れた、包括医療を展開します。

◆地域に密着した救急医療体制、災害拠点病院体制を整えます。

【特徴】

◆急性期特定機能病院への対応を主体とします。

※特定機能病院とは厚生労働大臣の承認を得た病院で、一般

新総合棟（病院7号館）施設主要用途

10F	VIPセンター・治験センター	20床	入院ゾーン 合計252床
9F	アイ（眼）センター	38床	
8F	アイ・糖尿病センター	38床	
7F	肺・呼吸器センター	40床	
6F	循環器センター	40床	
5F	消化器センター	38床	
4F	内視鏡外科センター	38床	
3F	眼科外来・産婦人科外来		外来ゾーン
2F	内科専門外来（臓器別）		
1F	総合内科外来		

医療機関では実施することが難しい手術や高度先進医療などを、高度な医療機器、充実の施設の中で行うことができる病院をいいます。特定機能病院の承認を得るためには、1）高度の医療を提供・評価・開発・研修することができ、2）内科・外科など主要な診療科が10以上ある、3）ベッド数が500以上ある、4）集中治療室などの高度な医療機器・施設がある、5）医師・看護師・薬剤師らが特定数以上いる、等の条件をすべて満たす必要があります。現在、特定機能病院に承認されているのは、大学病院と国立がんセンター（東京都）、国立循環器病センター（大阪府）など全国82施設です。

◆臓器別診療科体系システムの確立、教育環境および療養環境の充実、情報化の促進を推進します（1）3階の低層階に外来ゾーンを配備。4）10階までがそれぞれセンター診療体制で構成されます。

■平成16年度第4回 市民公開講座（平成16年9月18日）

子宮癌

ここまで治る

大阪医科大学産婦人科助教授
植田政嗣

では異なり、頸癌は性交渉に関連しています。体癌は、年齢の高い方、特に閉経後になります。

ただ若い人でも、ホルモンのバランスの悪い人は体癌になりやすく、最近体癌の増加が問題になっています。

症状は、頸癌は初期の場合には全く自覚症状がありません。発見するには検診しかありません。頸癌で出血とか異常なおりものがある場合は、かなり進んでいる状態です。体癌の場合は比較的初期でも月経が止まりにくいとか、不順であるとか、月経以外に出血があるという特徴があります。

どのようなに発生するかについては、頸癌の場合は、正常の状態から前癌状態を経て初期癌になっていきます。前癌状態（異形成）であれば軽度から中等度くらいなら、治療しなくても6、7割くらいは自然に治ってしまう場合があります。

子宮の周囲がどうなっているかを知るために画像診断など他の検査も行います。

頸癌の治療は、0期癌や微小浸潤癌の一部はレーザーで簡単に治ります。ところがⅠb期Ⅱ期の癌では、手術のできるものは手術し、周囲にリンパ節の転移とかがあれば、追加治療として放射線療法や抗癌剤治療をして経過をみるようになります。最近ではⅢ期でも、抗癌剤で癌を小さくしてⅡ期の状態にし、手術することも可能です。

体癌の場合も、とにかく早く発見すれば、子宮だけ取る簡単な手術ですみますから、特に閉経前後以後に異常な出血があったら、必ず子宮の中の検診も受けて頂くことが大切だと思います。

検診の方法ですが、頸癌では、細胞診・コルボスコピー（腔拡大鏡診）・組織診が重要です。進行した癌の場合は、



『病院機能評価』を

受けるにあたって

大阪医科大学 病院は、 今変身中です

私達は、いつも「地域社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに、良識ある人間性豊かな医療人を育成します」という『病院の理念』のもと、日々、信頼される病院、地域の中核病院、特定機能病院、教育研修病院として、それぞれの目標達成に努力しております。

皆様の プライバシーを 確保します



また『お互いの信

頼を築くために』、私達は「受診される皆様の権利」と「ご理解とご協力をお願いすること」を、皆様に示したいしました。

『病院の理念』ならびに『お互いの信頼を築くために』は、病院の中の約70カ所に掲示しておりますので、一度ご覧ください。

そしてこの「理念と

療養環境の 整備を 行います

病院5号館では、3つの病棟を新装オープンし、例えば今まで6人で入院していただいていた部屋を4人とし、お一人お一人が広く使用していただける部屋になりました。

皆様の プライバシーを 確保します

また病院1号館ではトイレの改装を行っています。病院2号館ならびに3号館の病棟廊下の照明も明るくします。

さまざまな診療部門では、診療場所の改装、また診察室の前にある中待合をなくすことによって、皆様のプライバシーが今まで以上に保てる環境を目指します。

療養環境の 整備を 行います

また改装工事中は、病室を移動していただいたり、騒音を我慢していただいたり、いろいろと迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

分かりやすい 表示にします



病院の案内表示を全面的に見直していきます。各部屋の表示、エレベーター横の案内、フロアーや廊下にある案内図などを、すっきりと統一したものに架け替えます。病院玄関脇にも大きな

診療の 質の確保に 向けて

な全体配置図を置き、初めてお出でになった方でも、病院の中が一目見て分かる案内板を作ります。

全体 配置図



診療の 質の確保に 向けて

皆様に治療について十分に説明し、同意をいただくこと、あらゆる面でのサービスの改善、さらに何よりも安全で質の高い医療を提供するために、病院各部署

また本院が一体となって行うチーム医療を促進するために、私達がいつも十分なコミュニケーションをとれる環境作りにも日々努力しています。

これから いろいろな 改善に努力 していきます

「診療までの待ち

満足度調査 (外来分)の概要

患者様

平成16年6月21日(月)～24日(木)の期間中に外来を利用された患者様に対して、提供された院内サービスを受け手

ある患者様がどのように感じているかを客観的に把握し、当院のサービスの向上を図るための参考資料とさせていただきます。

(1) 施設や設備について：建物の老朽化や構造上仕方ない面もありますが、平均点の3ポイントをやや上回る評価でした。

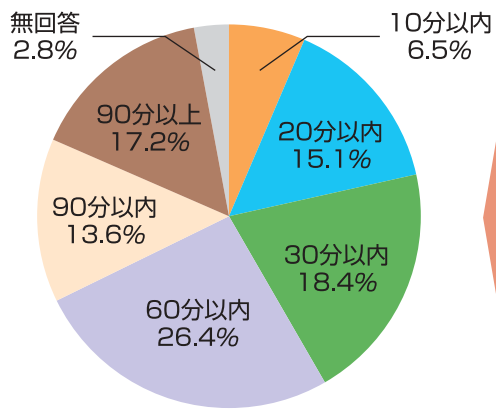
(2) 売店やレストランについて：平均点の3ポイントをやや上回る評価でした。

(3) 駐車場について：広さと料金が平均点の3ポイントを下回りました。

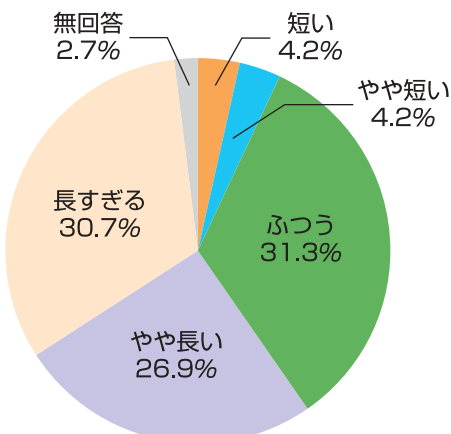
(4) 受付・会計について：全般的に平均以上の評価をいただきましたが、今後も患者様本位の対応を心掛けていきます。

(5) 診察について：総合評価は平均点以上でしたが、待ち時間について「長すぎる」「やや長い」と半数以上の方が

診察の待ち時間



診察の待ち時間の長さ



回答され、待ち時間の解消が大きな課題です。

(6) 薬の受け取りについて：86%の方が院外薬局を利用されており、院内に受け取られており「ふつう」以上と回答され概ね良好のようです。

そのほかたくさんのご意見をありがとうございます。今後も皆様方のご意見に耳をかたむけ、改善に努めてまいります。